

ニコンジोटックスと提携

大浦工測

デジタルカメラで測量事業

低コスト 短時間実測 画像解析や図作成

大浦工測(東京都北区、大浦通司社長、03・3558・3111)は、ニコン系測量機器メーカーのニコンジोटックス(東京都大田区)と測量ビジネスで提携した。大浦工測はデジタルカメラで撮影した写真データをもとに計測から画像解析、コンピューター利用設計(CAD)図作成まで行い、ニコンジोटックスはデジタルカメラや計測ソフトの拡販につなげる。今月末にサービスを始める。構造物や災害現場などを低コスト、短時間で実測できる。

顧客はニコンの高精度デジタルカメラ(D1X)を使って測量したい構造物などの写真を撮影する。大浦工測が新設した解析センター(東京都北区)に写真データを送信すると、ニコンジोटックスの計測ソフトを用いて3次元解析し、指定した箇所を計測してもらえる仕組み。価格は計測箇所1点につき5000円程度を予定。大浦工測が撮影から計測までを一手に請け負う場合もある。作業者はアングルの違

う写真を最低2枚撮影するだけで済むことから土砂崩れなどの災害現場や河川流量、盛り土、送電線など危険箇所の測量に適している。また、手作業による計測では半日程度かかっていた測量を1時間程度で済ませることができるよう、非接触のため営業中の現場でも測量可能。大浦工測は5年後に、年商3億円規模のビジネスを見込んでい

る。大浦工測は大手ゼネコンが首都圏で発注する墨出し工事を受注シェアは50%強を占める。デジタルカメラを使った測量ビジネスに参入するのは、墨出し工事の価格競争が激しくなるなかでゼネコンにアピールする差別化商品が不可欠なため。また、自治体や官公庁、鉄道など測量ビジネスで直接取引できる顧客を開拓する戦略商品の意味合いもある。

中堅・中小企業・ベンチャー